

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-20-1-3	
事業名 津波避難誘導灯・誘導看板整備事業（赤浜・東地区）	
事業費 総額 96,422 千円 （工事請負費：92,243 千円、実施設計委託：4,179 千円）	
事業期間 平成 25 年 10 月～平成 27 年 2 月	
事業目的・事業地区 <p>沿岸地域の住民の生命を津波から守るため、他事業により、高台までの避難路整備、緊急避難場所として、市営住宅、小中学校の屋上を活用するため、外階段の整備を行っているが、夜間の停電時には避難が困難になる恐れがある。</p> <p>この対策として、太陽光発電式の街路灯の整備と避難方向と距離を示した看板を整備し、避難が難しい夜間の停電に備える。</p>	
事業結果 <p>■津波避難誘導灯・避難誘導看板 93 箇所</p> <p>津波避難路の主要箇所及び、津波避難ビル（他事業による津波避難階段整備）の入り口付近へ、バッテリーを備えた太陽光発電式のLED照明灯の整備を行うことで、津波発生が夜間で停電時における円滑な避難を可能とした。</p> <p>また、当該照明灯の支柱へ避難誘導看板を設置し、平時からの避難先の啓発も行うことで、市民が自助の力で津波災害からの避難に繋げるものである。</p>	
<p>全景写真①（東小学校西門）</p> 	<p>全景写真②（高萩中学校北門）</p> 
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 基幹事業の、津波避難シミュレーションに基づき、避難路となる市道等に、効率的に避難誘導灯及び、避難誘導看板を整備することにより、避難困難者とされていた市民が、自助の精神の下、津波災害に対する避難の一助となった。	
② コストに関する調査・分析・評価 設置箇所については、県、市管理の道路、施設等に設置したことから、用地取得の必要がなく、コスト縮減を図った。	

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

当初は平成25年度内での事業実施予定であったが、官有地など用地費を必要とせず、効果的に誘導が可能となる場所の選定に時間を要したことから、事業期間を1年延伸した平成26年度内の完成となった。

また、本事業においては、設計業務の中で、避難誘導灯の製品の比較検討を行い、価格の検討を行ったうえで、工事については、入札により事業者を決定しており、適正であったと考える。

事業担当部局

茨城県高萩市市民生活部危機対策課 電話番号：0293-23-2215